

校訓	真善美	令和5年度 学校通信	発行日	令和6年3月11日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 -感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる-	「荒中だより」 3月 弥生 第33号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

卒業生の門出をお祝いして

『みんなで創る卒業式』

卒業生、在校生、来賓の方々、保護者の皆さま、先生方。厳粛、かつ盛大で、とてもあたたかい卒業式を創ってください。本当に、ありがとうございました。荒牧中学校3年生198名は、ひとひとひの、いのち輝く未来へ出発しました！

みなさんひとひとひが参加して感じたこと、思ったこと、決意などを大切にしてください。今日から、2年生は、最上級生となります。1年生は、2年生になる準備です。卒業生のあとを追いつつ、自分たちがどうあるべきか、「自ら考え、行動」してください。心は、行動です。



【東日本大震災から13年】

年明け1月1日には、能登半島地震がありました。1月17日には、阪神淡路大震災から29年が経ち、避難訓練を通して、日頃の備えの大切さについて考えました。今日は、東日本大震災から13年を迎えました。13年前の14時46分、大きな地震、驚異的な津波、原子力発電所の事故…。私は、3年生の担任で、卒業式を終え生徒たちの背中を見送った直後でした。体中に電気が走るような、恐ろしい思いをし、胸が苦しかった事を鮮明に覚えています。東日本の中学生も同じ時間を送っていたのではないかと、自分事と重なったからです。いつ何時…今を大切に生きること。日常が当たり前ではなく、ありがたいということ。「またあした」「行ってらっしゃい」明日がくること。ただいまが言えること。幸せです。